

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 創
公演団体名	ちびっ子寄席 みんなで作り参加する みんなの寄席

内容	
■初めて寄席に出会う子どものために	(寄席・落語の解説と実演)
■落語の小道具の使い方・小噺	(扇子・手ぬぐいの使い方;仕草の表現 小噺から落語へ;登場人物の表現方法)
■まずは落語を聞いてみよう!	(落語鑑賞)
■『かっぽれ』って何だろう!	(寄席芸 かっぽれの実演)
休憩	
■それぞれの班に分かれ本公演時に共演する児童・生徒のみなさんへワークショップとご指導を行います。	
<b>なぞかけに挑戦</b>	
先程のレクチャーと体験を踏まえた上で、なぞ掛けの創り方を指導します。なぞ掛けには約束事があります。『〇〇と掛けて〇〇と解く その心は〇〇です』と言うルールに従って、いろいろななぞ掛けを作ってみましょう。自由な発想で、本公演当日までにいろいろななぞかけを完成させて下さい。本公演では実際に発表して頂きます。(1～20名)	
<b>寄席でかっぽれ みんなでかっぽれ</b>	
寄席芸の一つに『かっぽれ』という寄席の踊りがあります。かっぽれにはいくつかの決まった踊りがあります。その踊りをワークショップでレクチャーし、本公演で発表して頂きます。DVD を使って本公演までに各自お稽古して頂きます。(1～20名)	
<b>高座のお茶子に挑戦</b>	
入門したばかりの若手落語家達は、寄席の礼儀作法や決まり事を高座の舞台番『お茶子』を務めながら修行します。ワークショップでお茶子の仕事・方法についてレクチャーします。本公演当日にお茶子さんとして実際に舞台の進行に係わって頂きます。DVD を使って、本公演まで各自お稽古していただきます。(1名～6名)	
<b>一番太鼓の演奏</b>	
寄席の開演を告げる一番太鼓に挑戦して頂きます。その一番太鼓の演奏方法をワークショップでレクチャーします。本公演当日、開演の20～30分前から一番太鼓を演奏して頂きます。DVD 等を使って、本公演当日まで各自お稽古していただきます。(1名～20名)	

以上のようなワークショップを体験して頂く予定です。ワークショップ内容の復習のために各ワークショップ内容を記したテキストや DVD をお渡しし、本公演までにお稽古して頂きます。各校の諸事情に柔軟に対応いたします。実演体験に関しましては、人数の許す限り御参加頂きます。

#### タイムスケジュール（標準）

##### ①午前中 9：30～11：00の場合

学校（会場）到着	8：00～
設営・準備	8：00～9：00
打合せ	8：30～9：00
児童入場	9：20～
開演（前半）	9：30～10：10
休憩	10：10～10：15
開演（後半）	10：15～11：00
片付け	11：00～11：30
退出	11：30～

##### ①午後 13：30～15：00の場合

学校（会場）到着	12：00～
設営・準備・昼食	12：00～13：00
打合せ	12：30～13：00
児童入場	13：20～
開演（前半）	13：30～14：10
休憩	14：10～14：15
開演（後半）	14：15～15：00
片付け	15：00～15：30
退出	15：30～

#### 派遣者数

合計 5名  
主指導者 1名  
補助者 4名（内2名スタッフ・マネージャー兼務）

## 学校における事前指導

事前指導などは特に必要としません。

訪問に先立ちまして、いくつかの資料をお届けします。また、ワークショップ～本公演の取り組み希望などを伺い、ワークショップ当日、ご相談できるよう致します。

体操服 など 動きやすい服装でご参加下さい。

### ◆ 新型コロナウイルス感染症対策として ◆

#### 学校の配慮

##### ① 換気の悪い密閉空間は創らない

体育館は暗幕を閉めず全ての窓を開放し、常に新しい空気が入る様換気して下さい。

ワークショップ前半：換気を心掛けた体育館でお話を聞きます。

出演者は舞台上、児童・生徒のみなさんはフロアです。

ワークショップ後半：後半は、参加人数が1チーム10名以上の場合は、換気の良い教室と体育館フロアにて活動を行います。教室の準備は3室お願いいたします。

##### ② 多数が集まる密集空間は創らない

人と人との距離に配慮し、ゆとりを持った空間の中で活動します。

ワークショップ前半：指導者は舞台上、児童・生徒のみなさんはフロアで、3m以上の距離を設けます。児童・生徒様も参加人数に従い、ゆとりを持った間隔でお座り下さい。

ワークショップ後半：教室であっても指導者と児童・生徒のみなさんは2m以上の距離を設けて活動します。児童・生徒様も参加人数に従い、ゆとりを持った間隔でお座り下さい。

##### ③ 間近で会話・発声する密接空間は創らない

隣同士・向い合わせ等 密接な距離での指導は避け、拡声器を通す等の工夫をします

ワークショップ前半：解説・実演デモンストレーション等は舞台の上から行います。児童・生徒のみなさんはフロアからご参加下さい。

ワークショップ後半：各チームによって参加方法を工夫します。

・なぞかけに挑戦 指導者と児童・生徒のみなさんは2m以上の距離を設けて指導 質疑応答 等で理解を深め、本公演での発表に備えます。

・みんなでかっぱれ 体育館で指導を行います。指導者と児童・生徒のみなさんは3m以上の距離を設けて実演体験をし、発表に備えます。

・高座のお茶子挑戦 指導者と児童・生徒のみなさんは2m以上の距離を設けて指導 実演指導も距離を保ちながら行い、発表に備えます。

・一番太鼓に挑戦 指導者と児童・生徒のみなさんは2m以上の距離を設けて指導 本物の太鼓の代わりに自分の手と膝を使ってお稽古します。

## 実演者の配慮

新型コロナウイルス感染症を持ち込まない を基本姿勢に実演に参加する全員が感染症対策に取り組みます。

- ① 公共交通機関 等の移動の際は、出来るだけ混雑時間を避けるよう 移動時間に工夫をいたします。車輛移動の際も、車両内が緊密な状態にならないように、ゆとりを持った座席配置で、常に換気を行う努力をいたします。
- ② 全行程で体調管理表を作成します。出発前に全員の検温と体調報告を行い記入し各校 到着時に報告します。万一、体調不良者（検温 37.5 度以上）がいましたら、ホテルで待機の上、ご報告いたします。
- ③ 全員が弊社支給のマスクを装着いたします。また、到着時・ワークショップ開始前・終演後・退出時に必ず手洗いを励行いたします。消毒液も持参します。

### ◆ ワークショップ公演のみなおし提案 ◆

本来、本公演の一ヶ月前までにワークショップ公演を行い、そこで 様々な実演指導を受け 本公演で発表する事が、みんなで作り参加する ちびっ子寄席の意図です。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い 学校現場も様々な対応を講じていらっしゃる事と思われまます。そこで、ワークショップ公演の取り組み方法をいくつかご提案致します。

#### ● ワークショップ公演・本公演 を別日に行う場合

- ① 本来の計画通り、前・後半に分け 90 分で活動。後半はグループに分かれ活動。公演実施計画書通りに行います。
- ② 本来の計画通り、前・後半に分け 90 分で活動。後半も全体で活動。グループに分かれず、全体で活動します。全体への課題はみんなでかっぽれや一番太鼓に取り組みます。ワークショップ参加者は本公演で共演いたします。

#### ● ワークショップ公演・本公演 を同じ日に行う場合

- ① 午前中にワークショップ 午後から本公演を行います。  
午前中の活動は『寄席をより深く知ろう』をテーマに行います。事前に課題に取り組む事が出来ませんが、三遊亭金八が踊るかっぽれに合いの手を入れるお稽古に取り組みます。みんなで体験し、午後の本公演へと繋げてゆきます。

みんなで作り参加する ちびっ子寄席へ楽しくご参加頂くため、様々な学校様の要望に寄り添い 実現へ向けて協力いたします。

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

## 本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 創
公演団体名	ちびっ子寄席 みんなで作り参加する みんなの寄席

演目
①一番太鼓で入場（代表児童・生徒による参加コーナー） ②東西演芸博物館 観覧 ③落語教室・寄席囃子 紹介 ④上方落語 ⑤仲入り（休憩）（休憩の有無はご相談申し上げます） ⑥なぞかけに挑戦！（代表児童・生徒による参加コーナー） ⑦色物 ⑧江戸落語 ⑨みんなでかっぽれ！（代表児童・生徒による参加コーナー）
公演時間 約90分～100分

派遣者数
合計9名
出演者：6名 スタッフ：3名

タイムスケジュール（標準）
学校の諸条件(午前中公演の場合)等で、前日に若干の仕込みがある場合があります。
午後開演 13:30～15:00 の場合
学校到着・打合せ 9:00～
寄席舞台設営 9:30～11:30 (所要時間 約120分)
場当たり・サウンドチェック 11:30～12:00 (所要時間 約30分)
子供達とのリハーサル 12:00～12:30 (所要時間 約30分)
開場・寄席博物館観覧 13:00～ (所要時間 約30分)
開演 13:30～15:00 (所要時間 約90分)
片付け・撤収作業 15:00～17:00 (所要時間 約120分)
退出 17:00～
※学校様の開演時間によって多少の変更がございます。送付資料をご覧ください。

### 実施校への協力依頼人員

当日の子供達とのリハーサルは各班に分かれて行動します。その際出演者やスタッフが子供の側で指導いたしますが、先生方はそれぞれ付き添い役として子供を見守って頂きますと幸いです。

### 演目解説

#### ①一番太鼓で入場（代表児童・生徒による参加コーナー）

ワークショップで学び、お稽古した成果の発表です。開演の20～30分前から寄席の開場の合図「一番太鼓」を演奏して頂きます。発表する児童・生徒は寄席の法被を着て頂きます。その他の入場者は一番太鼓の音を聞きながら入場してください。

#### ②東西演芸博物館 観覧（入場者 全員）

入場の際に、東西演芸博物館を観覧して頂きます。わかりやすい説明文・イラスト・写真により東西の寄席の説明をいたします。説明文の他にも、高座台・見台・膝隠しといった道具や、落語家の衣装・扇子・手ぬぐい、さらには大太鼓・三味線・締太鼓・銅鑼等の寄席で使用する楽器等を実際に触れて体験できるコーナーもあります。東西演芸との出会いのコーナーです。

～ここから、ちびっ子寄席の開演です～

#### ③落語教室・寄席囃子 紹介

初めて東西落語に出会う子供達のために、落語とはいったいどんな演芸なのかというお話から、東西の落語の歴史や成り立ちを分かりやすい説明と共に、エピソードを交えてお話しします。

その後、通常は裏方として出囃子や効果音を演奏している三味線や太鼓等の囃子方に舞台上に出て頂き、寄席で演奏される楽器の紹介をします。また、有名な落語家の出囃子や、子供達もよく知る曲を出囃子にしたもの、効果音と共に演じられる上方特有の落語、はめもの落語の一部などをご覧頂きます。

#### ④上方落語

陽気で賑やかな上方落語を一席、鑑賞して頂きます。演目は子供達が出てくる噺や、動物や食べ物が出てくる噺などの落語入門編というべき分かりやすい落語を聞いて頂きます。演目は当日、子供達の様子を見ながら決定します。

小学生の場合… 寿限無・動物園・平林・ん回し など。

中学生の場合… 時うどん・桃太郎・道具屋・子ほめ など。

#### ⑤仲入り（休憩）（休憩の有無はご相談申し上げます）

**⑥なぞかけに挑戦！（代表児童・生徒による参加コーナー）**

ワークショップで学び、考えてきたなぞかけの発表です。司会者が一人ずつマイクをお渡ししていきますので、考えてきたなぞかけを発表して頂きます。

**⑦色物**

寄席を代表する色物、太神楽曲芸などの日本の伝統芸能を子どもたちが最後まで退屈せずに寄席を体験できるようご覧頂きます。

**⑧江戸落語**

粋で洒脱な江戸落語を一席聞いて頂きます。演目は子供達が出てくる噺や、動物や食べ物の出てくる噺などの落語入門編というべき分かりやすい落語を選びます。テーマは上方落語と同じでも、口跡やテンポが上方落語とは違います。上方と江戸、東西の違いも感じてみてください。

小学生の場合… 元犬・転失気・平林・初天神 等。

中学生の場合… 時そば・子ほめ・饅頭こわい 等。

**⑨みんなでかっぽれ（代表児童・生徒による参加コーナー）**

ワークショップで学び、稽古をしてきた成果の発表です。寄席芸の一つであるかっぽれを、チームで力を合わせて踊りましょう。最後は全員参加で賑やかなかっぽれの輪を広げましょう。

**児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫**

参加する子ども達は、ワークショップ時にお渡ししたDVDやテキストを参考に、本公演に向けて、みんなで相談、創意工夫、お稽古の上、発表していただきます。

**なぞかけに挑戦**（1～20名）

およそ5名程のみなさんが創作『なぞ掛け』を発表します。人数が多い場合は班ごとに相談して作り、代表者が発表してください。ワークショップ時に受けたアドバイス等を基に、創意工夫・創作してみましょう。

**寄席でかっぽれ みんなでかっぽれ**（1～20名）

踊りをワークショップでレクチャーし、本公演で発表して頂きます。DVDを使って本公演までに各自お稽古して頂きます。

**高座のお茶子に挑戦**（1名～6名）

ワークショップでお茶子の仕事・方法についてレクチャーします。本公演当日にお茶子さんとして実際に舞台の進行に係わって頂きます。DVD を使って、本公演まで各自 お稽古していただきます。

## 一番太鼓の演奏

寄席の開演を告げる一番太鼓に挑戦して頂きます。その一番太鼓の演奏方法をワークショップでレクチャーします。本公演当日、開演の20～30分前から一番太鼓を演奏して頂きます。ワークショップ時に太鼓のバチを貸し出しますので、太鼓の代わりに段ボール等を叩いて練習してみてください。また、DVD等を使って、本公演当日まで各自お稽古していただきます。(1名～20名)

### ■公演に参加させるための工夫

・『なぞかけ』参加者に関しては、テキスト 創作ノート(仮)を配布し、活用して頂きます。出演者体験に関しては、解りやすい学習用のDVDを配布いたします。本公演までの間 それらを使って継続的に創作・お稽古して頂きます。尚、希望校には先生対象のレクチャーの時間を設けて頂き、フォローアップして参ります。

・公演当日、体験として参加いただく子ども達は、法被を着用して頂きます。

・本公演までの興味付けとしての事前学習 事後学習

図書館で落語の本を見つけ、どんなお噺があるのか調べてリストアップしてみましょう。また、当日の『お楽しみ』で登場する落語が、どんなお噺なのかを事後に調べるのも楽しい作業になると思います。

※学校様のご事情や負担を考慮し参加の有無、参加内容、参加人数等を確認しながら一緒に進めて参ります。ご相談下さい。

## 児童生徒とのふれあい

①児童・生徒によるさまざまな落語体験や舞台の設営、進行と運営 などを通じて、伝統芸能を継承する落語家たちの思いをご理解いただくところから 公演は始まります。また、実演での参加だけでなく、全児童・生徒対象の寄席博物館への参加で、より多くの子ども達に落語と係わる体験を持って頂きたいと考えています。

②落語家との触れ合いコーナーとして、事後交流会を公演終了後 約10～20分程設けたいと考えています。公演内容に対する質問コーナーやワークショップコーナーをもう一度 体験するなど 心に残る落語鑑賞を取り組んでゆきます。特に前座時代から落語家修行を経験した者達が語る落語への熱い思いは、子ども達の心にも深く浸透する事と思います。

③バックヤードツアーも承ります。落語の舞台はどうなっているの？のれんの奥には何があるの？子ども達の興味を掬い上げる為にも、公演終了後 約10～20分程 バックヤードツアーを希望される学校様には体験して頂きます。また、退出の際、もう一度寄席博物館へご参加頂きたいと考えています。



◆ 新型コロナウイルス感染症対策として ◆

学校への配慮

① 換気の悪い密閉空間は創らない

体育館は暗幕を閉めず全ての窓を開放し、常に新しい空気が入る様換気して下さい。  
本公演：換気を心掛けた体育館でお話を聞きます。

出演者は舞台上、児童・生徒のみなさんはフロアです。

② 多数が集まる密集空間は創らない

人と人の距離に配慮し、ゆとりを持った空間の中で活動します。

本公演：出演者は舞台上、児童・生徒のみなさんはフロアで、3m以上の距離を設けます。児童・生徒様も参加人数に従い、ゆとりを持った間隔でお座り下さい。

③ 間近で会話・発声する密接空間は創らない

隣同士・向い合わせ等 密接な距離での指導は避け、拡声器を通す等の工夫をします  
本公演：解説・実演デモンストレーション等は舞台の上から行います。実演発表の参加方法は、通常であれば舞台袖で準備・待機⇒発表ですが、今回は客席でスタンバイし 順次参加して頂きます。

- ・なぞかけに挑戦 発表者は各自舞台上上がり発表します。  
司会進行役の落語家は距離を設けてサポートします。
- ・みんなでかっぱれ 発表者はフロアで、2m以上の距離を設けて対面で発表します。  
主指導者の落語家が舞台の上からサポートします。
- ・高座のお茶子挑戦 次の出演者へ変わる際、各自、名札や座布団の返しを行います。  
舞台袖でお囃子連が様子を確認しながらサポートします。
- ・一番太鼓に挑戦 児童・生徒のみなさんは社会的距離を設けて順次 太鼓を打ち、終われば自分の席へと戻ります。落語家も社会的距離を置いた中で、参加者をサポートします。

実演者への配慮

新型コロナウイルス感染症を持ち込まない を基本姿勢に実演に参加する全員が感染症対策に取り組みます。

- ① 公共交通機関 等の移動の際は、出来るだけ混雑時間を避けるよう 移動時間に工夫をいたします。車輛移動の際も、車両内が緊密な状態にならないように、ゆとりを持った座席配置で、常に換気を行う努力をいたします。
- ② 全行程で体調管理表を作成します。出発前に全員の検温と体調報告を行い記入し各校 到着時に報告します。万一、体調不良者（検温 37.5 度以上）がいましたら、ホテルで待機の上、ご報告いたします。
- ③ 全員が弊社支給のマスクを装着いたします。また、到着時・ワークショップ開始前・終演後・退出時に必ず手洗いを励行いたします。消毒液も持参します。

◆ 本公演の見直し提案 ◆

本来、本公演の一ヶ月前までにワークショップ公演を行い、そこで 様々な実演指導を受け 本公演で発表する事が、みんなで作り参加する ちびっ子寄席の意図です。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い 学校現場も様々な対応を講じていらっしゃる事と思われます。そこで、本公演の取り組み方法をいくつかご提案致します。

● ワークショップ公演・本公演 を別日に行う場合

□ 計画書通り、本公演当日リハーサルを行い午後の本公演で共演します。  
公演実施計画書通りに行います。

□ 共演する部分を負担の少ない内容に変更し、参加します。

ワークショップを一部変更しますが、みんなで作り参加する寄席を作ります。

● ワークショップ公演・本公演 を同じ日に行う場合

□ 共演する部分を負担の少ない内容に変更しWSと本公演を同日に行います。

午前中の活動は『寄席をより深く知ろう』をテーマにワークショップを行い、三遊亭金八が踊るかっぽれに合いの手を入れるお稽古に取り組みます。

午後は、全学年によるちびっ子寄席の鑑賞会を行います。午前中 活動した合いの手での参加や簡単に参加できる体験コーナーを盛り込み みんなが楽しめる寄席を創ります。

※ 参加学年に制限は有りませんが、午後の公演も踏まえてお考え下さい。

※ 別日に行う場合・同日に行う場合であっても、活動内容に関しましては 学校の状況を踏まえて、ご意見を伺いながら進めさせていただきます。

※ お忙しいとは存じますが、密な連絡でスムーズに進めて参ります。

みんなで作り参加する ちびっ子寄席へ楽しくご参加頂くため、様々な学校様の要望に寄り添い 実現へ向けて協力いたします。